

さくら・さくらんぼ保育園創始者：斎藤公子の子育て——その継承と発展！

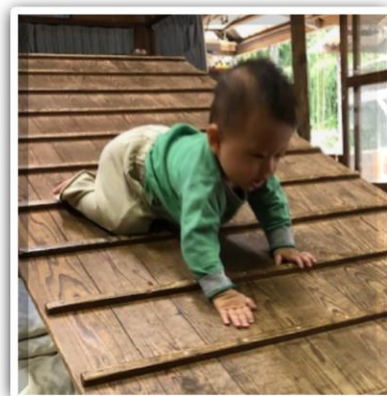
赤ちゃんの育て方

連続講座第8回目

- とき：2019年1月26日(土) 受付開始 8:30～ 終了予定 16:00
- ところ：吉川保育園 埼玉県加須市騎西 352 - 2
 - ◇ 参加費：1人参加 5,000円 家族参加 6,000円
 - ◇ 現地にて集金 定員 80名 *会場に駐車場あり *お弁当の手配はありません。
 - ◇ 講師 前田綾子 (くさぶえ保育園 園長)
 - ◇ 講師 岩倉政城 (尚絅学院大学^{しょうきゅう}名誉教授。歯学博士)



生後10か月を過ぎ、つかまり立ちから伝い歩きになりそうな大ちゃんに、四つ這い姿勢のバリエーションを増やすことで伝い歩きより、四肢を使ったカラダの動かし方を身につけています。基本は金魚運動です。赤ちゃんにとっては環境設定が大変重要です。どんな場所でどんな這い這いをうながすか？ それは保育士の科学に裏付けされた感性が問われます。



赤ちゃんの参加を募集しています。発達が少し遅い、1歳過ぎててもなかなか歩かない、という赤ちゃんもぜひご参加ください。またハンディキャップがあるお子さんもぜひ、どうぞ。赤ちゃん体操を紹介します。

申し込み メール s.hoiku2020@gmail.com

お申し込み後、1週間以内に連絡します。連絡がない場合は090-4446-9663(前田)まで

主催：斎藤公子保育自然学校

① 9:30～12:00

「赤ちゃんの胸をひらく」手の平が上を向く…深い呼吸ができる…仰向けで熟睡するためのワーク
《子どもの姿勢、箸の持ち方、両手を使う》は赤ちゃん時代に胸をひらいているかどうか…です。

② 13:00～15:00 岩倉政城先生講演

「赤ちゃんの発達の道すじ」～五感への刺激と活動の体験が脳を、心を育てる～

原始反射の回路で生まれた子は、五感と体動を駆使して人と関わり、自分を、そして他者を発見し、神経回路を組み替えて発達を遂げ、ついには人とつながる情緒を育てます。

③ 15:20～16:00 まとめ

参加者からの意見、感想、質問をお受けします。

自分の実践につないでいくために積極的な姿勢で参加しましょう。

講演会 岩倉 政城 (いわくら まさき) 先生 プロフィール

尚^{しょうかい}綱学院大学名誉教授。歯学博士。新医協（新日本医師協会）会長、
尚綱学院大学附属幼稚園前園長

主な著書：『五感ではぐくむ子どものころ』 『さあ、子どもたちを真ん中に』

『“ボクってすごい” “アタシってすごい” と思える子を育てる』

『かみつく子にはわけがある』 『指しゃぶりにはわけがある』

『口を通した子どもの発達』 『口から見た子育て』

主な活動：2018年プラハ国際会議にて「震災から・放射線から子どもを守る」をプレゼンテーション。新医協 HPV ワクチン検討会。伝統医学研究会。

主な論文：「震災後に幼稚園という日常をいかに早く保障するか」

主な講演：「子どもの遊びと労働の役割」「程よくほど悪い程度の親がいい」

「放射線から人体を守る基本的な考え方」「五感で親子の共育ち」

「大人から自然を奪われた子どもたち」～そして保育者は放射能汚染に立ち向かった～